JCG 海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

令和８年４月６日
海　上　保　安　庁

危険物探知用無人艇の運用に向けた検証を開始

～危険・有害物質検知作業をより安全に実施するために～

海上保安庁は、令和５年度から開発を進めてきた危険物探知用無人艇「あるばとろす」の本格運用に向けて、令和８年度から機動防除隊により様々な検証を実施していきます。

○　これまで海上で危険・有害物質の流出事故が発生した際は、化学防護服や空気呼吸器を装備した海上保安官が現場に臨場し、ガス検知器を用いて有毒ガス等の検知作業を実施してきました。

○　より安全に現場活動を実施するために、有人で実施していたガス検知作業を無人で行うことができる危険物探知用無人艇「あるばとろす」の開発を進めてきました。

○　主に横浜海上防災基地の前面海域で、今後の本格運用に向けた検証として、「陸上輸送から発航までの迅速性の検証」「危険物探知装置の精度検証」「遠隔操縦システムの機能検証」等の項目を実施していきます。

○要目
船　　名：あるばとろす　※
長　　さ：３．８ｍ
幅　　：１．９ｍ
総トン数：０．３ｔ
速　　力：５ kt 以上

※船名「あるばとろす」の由来
機動防除隊のシンボルとして隊員章のモチーフにも使われているアホウドリの英名「albatross」が由来。